

トランコムグループ 決算説明資料

2020年3月期



証券コード：9058

トランコム株式会社

2020.4.30

2020年3月期 発表のポイント

2020年3月期実績

- ・ロジスティクスマネジメント事業は運営の効率化・改善を進めた
- ・物流情報サービス事業は、成約件数は増加したが、下期以降輸送価格競争が厳しくなった
- ・インダストリアルサポート事業は、下期以降顧客減産の影響により下半期減収減益
- ・通期連結計は、増収増益

2021年3月期について

- ・現時点での業績予想の公表を控え、状況が落ち着き事業活動への影響確認が進み、適正かつ合理的な算出が可能になったら、速やかに開示。
- ・年間の1株あたり配当額予想についても公表を控え、業績予想の公表の開示と同時に公表。
2020年3月期で19年連続増配となり、2021年3月期についても連続増配を堅持する方向で検討。

足元の状況変化への柔軟な対応と、独自の「はこぶ」仕組みで 物流変革を実現

- ・現時点で中期経営計画の具体的な内容の公表は控え、上記業績予想の確認が取れ次第、業績予想に合わせて速やかに公表。
- ・新型コロナウイルス感染終息後には、物流構造変化や新たな社会的課題も生まれることも想定。
トランコムが強みを活かした「はこぶ」仕組みの創造に向けたビジネス展開を加速させ、物流の抜本的改革を実現。

目 次

1	2020年3月期 決算トピックス	P.4
2	2020年3月期 業績/セグメント別	P.13
3	財政状況及び還元方針	P.20
4	新型コロナウイルス感染拡大による 事業影響	P.22

2020年3月期決算トピックス

TRANCOM VISION これからの事業の方向性

長期
ビジョン

TRANCOMならではの高度な「**はこぶ**」仕組み
＝日本最大の輸配送プラットフォーム
を持つロジスティクスカンパニー

中期
ビジョン

「**はこびかた**」「**はこぶもの**」を充実し
「**はこぶ**」ことの最適化を追求したサービスを構築

中期の
主要方針

限りある輸配送力を最大限活かした
「**はこびかた**」を創出



業界を超えた
多様な「**はこぶもの**」を創出

2020年3月期決算トピックス

「はこぶ」仕組みの創造に向けた取り組み

詳細

1 Re_solnetサービスの仕組み構築

P 6

2 アライアンスによる「はこぶ」効率化を推進

P7~8

3 自動車部品の幹線輸送業務拡大

4 全国拠点展開の在り方の検討と実行

P9

5 組織再編：Transport本部/事業戦略グループを新設

P10

新たなサービス / 事業基盤強化取り組み

1 新たな物流分野への挑戦

P11

2 物流センター（ケースピック業務）の自動化 検討

3 ASEAN地区のハブであるシンガポール進出

P12

2020年3月期決算トピックス

「はこぶ」仕組みの創造に向けた取り組み

1 Re_solnetサービスの仕組み構築

Re_solnetサービス (Return・Reduce・Rebirth + **S**olution + **N**etwork)

求貨求車サービスのネットワークを活かしたTRANCOM独自の回収物流

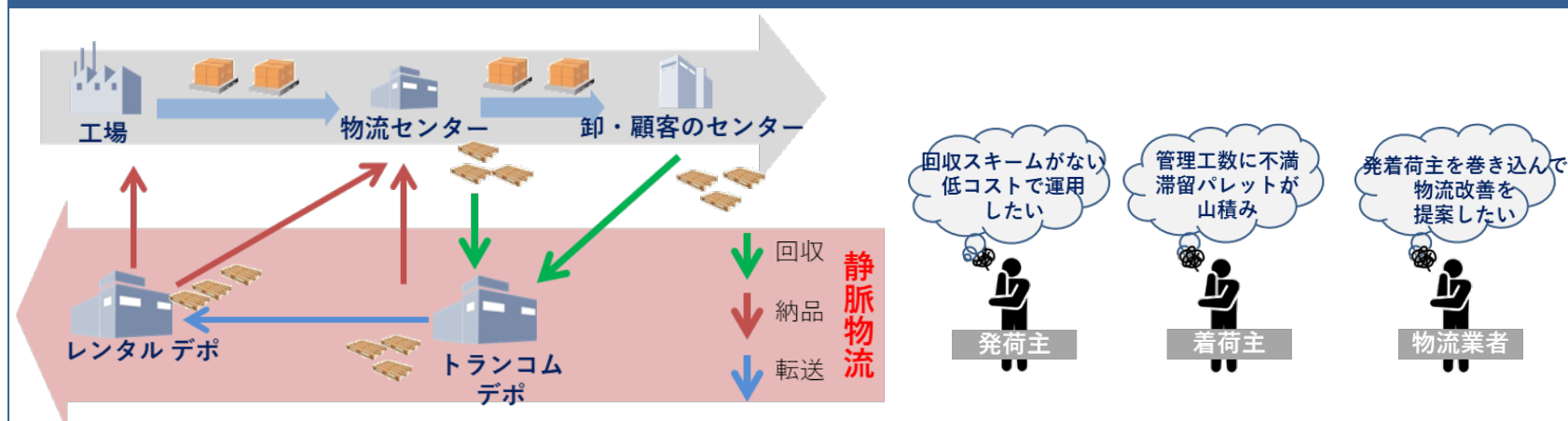
■パレット回収スキームの事業化

物流センター等に滞留するパレットを効率よく回収、パレット循環の仕組み構築を実現

- パレットの取り扱いを増やし、求貨求車の混載貨物（中ロット貨物）を増大
- 国土交通省による実証事業（2020年6月開始）

菓子輸送における一貫パレチゼーションの実現・連結トラックを活用した共同輸配送

TRANCOMのパレット回収スキーム



2020年3月期決算トピックス

「はこぶ」仕組みの創造に向けた取り組み

2 アライアンスによる「はこぶ」効率化を推進

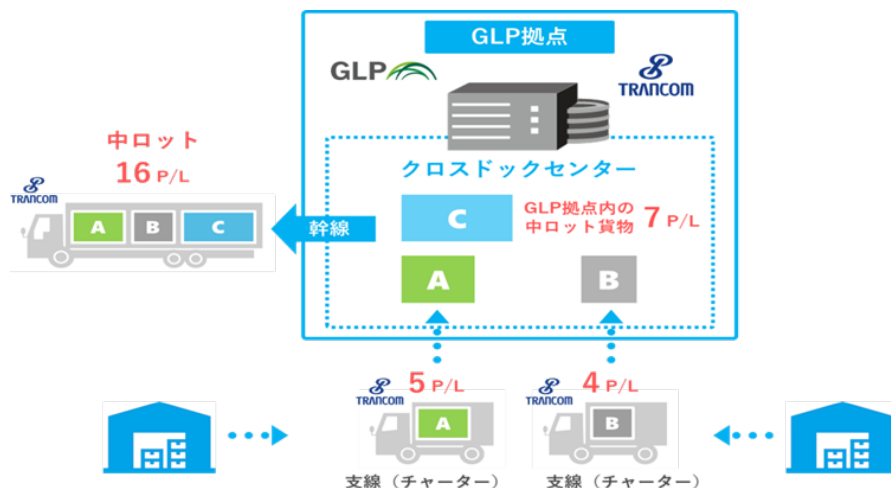
■ 日本GLP社・モノフル社との業務提携

日本国内物流における※フィジカルインターネット網の実現を目指す

※各社ごとに作られた専用の物流ネットワークではなく、複数企業がシェアする物流ネットワーク

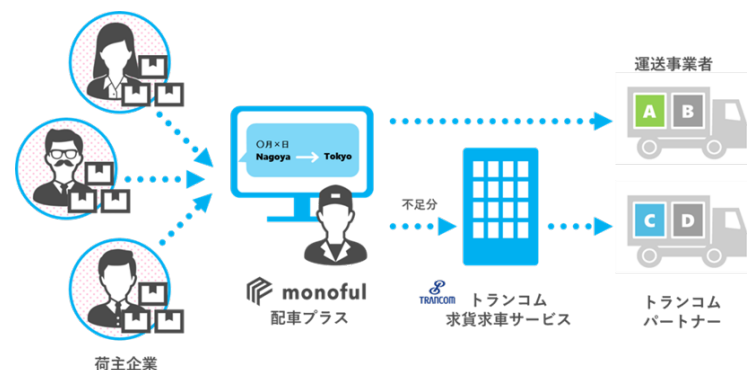
日本GLP 施設をクロスドックセンターとして活用

入居企業のトラック要請に、柔軟な手配可能
中ロット貨物に対して安価な輸送手段を提供



モノフル「配車プラス」を利用した シームレスなマッチングの実現

「配車プラス」と求貨求車サービスを連携



2020年3月期決算トピックス

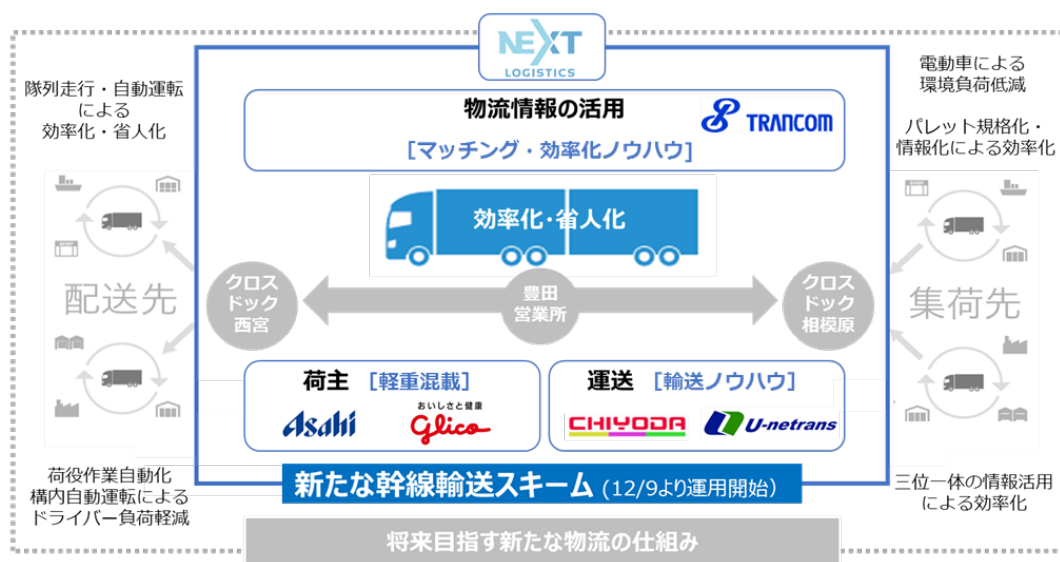
「はこぶ」仕組みの創造に向けた取り組み

2 アライアンスによる「はこぶ」効率化を推進

■トラックメーカー 日野グループとの資本業務提携

物流の課題解決に向けた第一歩として、多業種連携でノウハウ結集

ダブル連結トラックを用いた、新たな幹線輸送スキームを事業化



物流効率の最大化

効率的に多くの荷物をはこぶ
1台でより多くの荷物をはこぶ

安心・安全・持続可能な物流の追求

安全
輸送品質の向上
環境負荷低減
働き方改革
コスト適正化
利便性



▲日野自動車開発の
全長25m級ダブル連結トラック

2020年3月期決算トピックス

「はこぶ」仕組みの創造に向けた取り組み

4 全国拠点展開の在り方の検討と実行

■ 輸送の多様化、積載率向上、ドライバーの長時間運行の抑制を目的とした
拠点構想

中継・積替えに対応できる輸送拠点

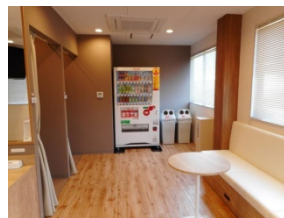


愛知営業所

袋井営業所
(2020年度下期完備)

ドライバーの休憩・宿泊設備を 充実

リラックススペース



ランドリー



シャワールーム



ベッドルーム



袋井営業所
(2020年度下期拡張)

複数の大型トラック
乗り換え車両の
駐車スペースの拡張



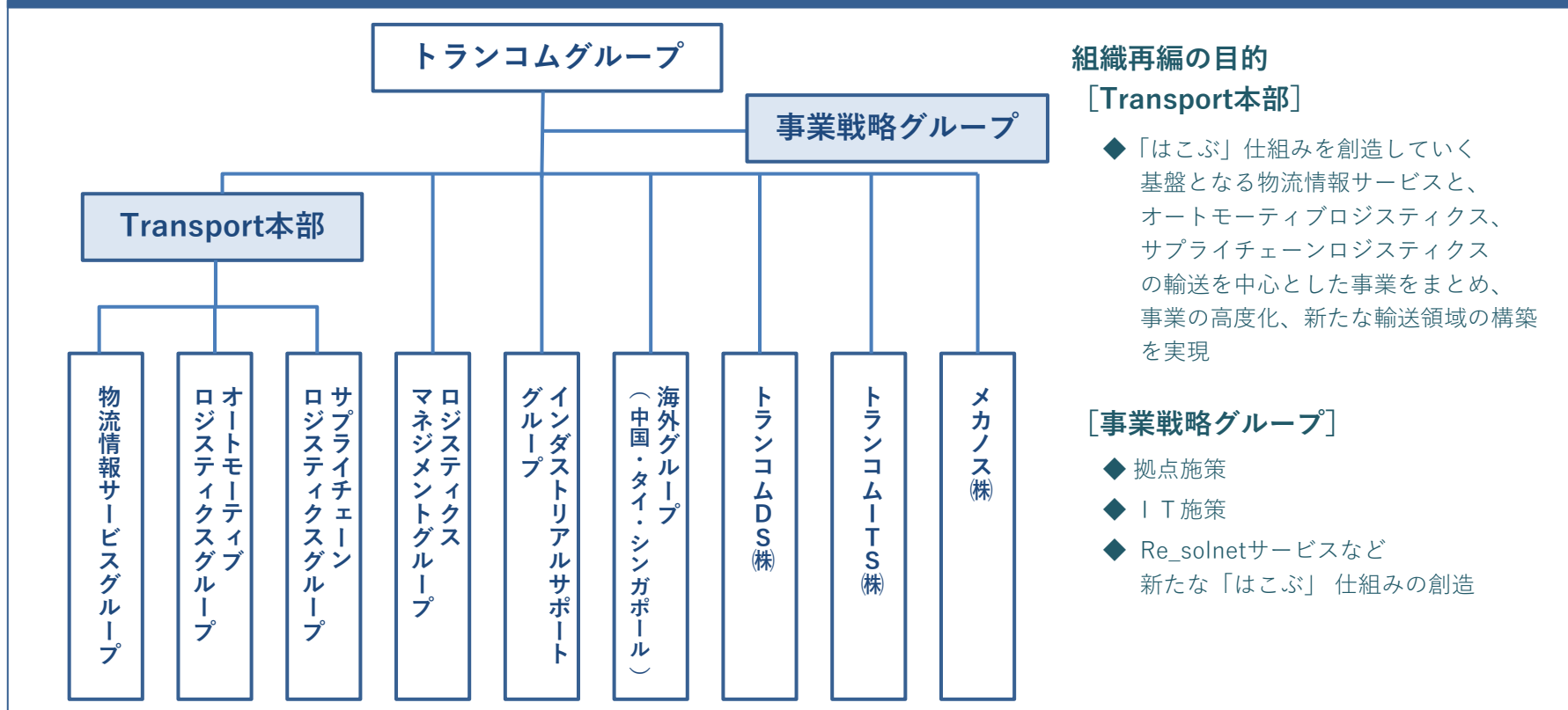
2020年3月期決算トピックス

「はこぶ」仕組みの創造に向けた取り組み

5 組織再編：Transport本部/事業戦略グループを新設

■ 「はこぶ」仕組みの創造に向けたビジネス展開を加速

トランコムグループ 組織図 ※事業系のみ



2020年3月期決算トピックス

新たなサービス/事業基盤強化取り組み

1 新たな物流分野への挑戦

■販促物物流、IS事業とのシナジーによる物流業務稼働

メーカー3社の販促物 物流

- ・メーカー3社がこれまで各社個別に運営していた物流センター統合に際し、**運営効率化を実現**
- ・グリーン物流パートナーシップ会議優良事業所表彰にて「**経済産業大臣表彰**」を共同受賞

梱包用段ボール
サイズの標準化



梱包容積・
輸配送梱数削減

3社の販促物を
共同配送



物流効率改善
環境負荷低減を
実現

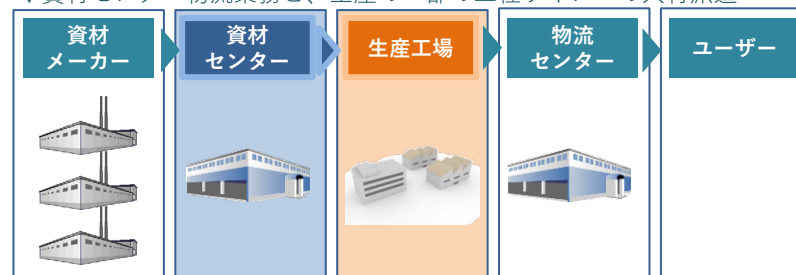
センター内の
様子



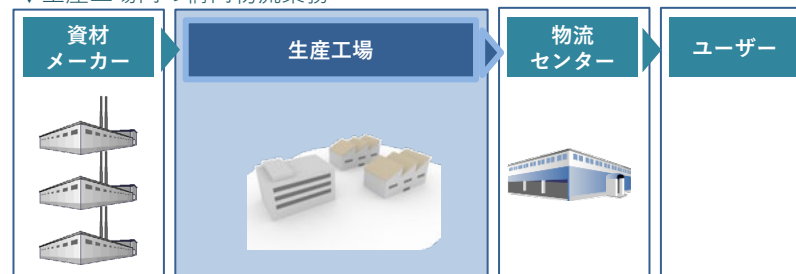
IS事業とのシナジー 「つくってはこぶ」

薬粧品メーカーの資材・構内物流が稼働

▼資材センター物流業務と、生産の一部の工程ラインへの人材派遣



▼生産工場内の構内物流業務



2020年3月期決算トピックス

新たなサービス/事業基盤強化取り組み

3 ASEAN地区のハブであるシンガポール進出

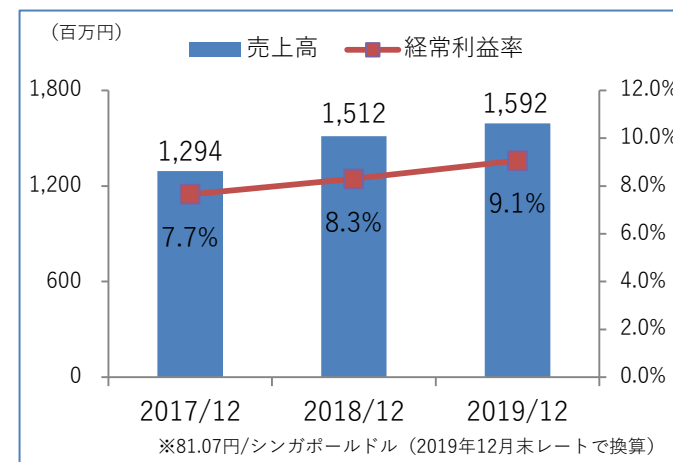


- 海外戦略であるASEAN地区への展開を視野に、シンガポールでビルクリーニング事業を行っている Sergent Services Pte Ltdを子会社化（2019年9月）

Sergent Services Pte Ltd 会社概要

- 顧客：チャンギ国際空港 地下鉄駅 大型商業施設等
- 業界での影響力/ 3 者評議会の代表
- 清掃事業ライセンス L 6 取得

BCAライセンス L6（最高ランク）を取得
L6 取得企業は全体412社のうちで22社



◆ 連結化

B S : 2020年3月期 P L : 2021年3月期

2020年3月期 業績/セグメント別

前期比

下半期は物流情報サービス・インダストリアルサポートで減益となったが、ロジスティクスマネジメントの運営効率化により通期ベース 増収増益

計画比

売上高は達成、利益面で未達

(単位：百万円)

	2019年3月期			2020年3月期						計画	
	上半期	下半期	通期	上半期	前期比	下半期	前期比	通期	前期比	通期見通し	計画比
売上高	73,345	77,766	151,111	80,217	9.4%	83,245	7.0%	163,463	8.2%	162,600	0.5%
営業利益	2,983	3,750	6,733	3,672	23.1%	3,893	3.8%	7,566	12.4%	7,700	-1.7%
(売上高比)	(4.1%)	(4.8%)	(4.5%)	(4.6%)	(+0.5P)	(4.7%)	(-0.1P)	(4.6%)	(+0.1P)	(4.7%)	(-0.1P)
経常利益	2,978	3,673	6,651	3,630	21.9%	3,787	3.1%	7,417	11.5%	7,610	-2.5%
(売上高比)	(4.1%)	(4.7%)	(4.4%)	(4.5%)	(+0.4P)	(4.5%)	(-0.2P)	(4.5%)	(+0.1P)	(4.7%)	(-0.2P)
親会社株主に帰属する当期純利益	2,001	2,327	4,328	2,362	18.0%	2,546	9.4%	4,909	13.4%	5,000	-1.8%
(売上高比)	(2.7%)	(3.0%)	(2.9%)	(2.9%)	(+0.2P)	(3.1%)	(+0.1P)	(3.0%)	(+0.1P)	(3.1%)	(-0.1P)

2020年3月期 業績/セグメント別

(単位：百万円)

		2019年3月期			2020年3月期						計画	
		上半期	下半期	通期	上半期	前期比	下半期	前期比	通期	前期比	通期見通し	計画比
ロジスティクス マネジメント事業	売上高	24,893	26,224	51,118	26,989	8.4%	28,035	6.9%	55,024	7.6%	54,000	1.9%
	営業利益	1,334	1,699	3,033	1,673	25.5%	1,968	15.8%	3,642	20.1%	3,500	4.1%
	(売上高比)	(5.4%)	(6.5%)	(5.9%)	(6.2%)	(+0.8P)	(7.0%)	(+0.5P)	(6.6%)	(+0.7P)	(6.5%)	(+0.1P)
物流情報 サービス事業	売上高	40,493	43,257	83,750	45,385	12.1%	47,033	8.7%	92,418	10.4%	92,600	-0.2%
	営業利益	1,530	1,781	3,312	1,606	5.0%	1,665	-6.5%	3,272	-1.2%	3,500	-6.5%
	(売上高比)	(3.8%)	(4.1%)	(4.0%)	(3.5%)	(-0.3P)	(3.5%)	(-0.6P)	(3.5%)	(-0.5P)	(3.8%)	(-0.3P)
インダストリアル サポート事業	売上高	3,767	3,920	7,687	3,735	-0.9%	3,567	-9.0%	7,302	-5.0%	7,600	-3.9%
	営業利益	-3	145	141	178	-	52	-63.9%	231	63.2%	330	-30.0%
	(売上高比)	(-0.1%)	(3.7%)	(1.8%)	(4.8%)	(+4.9P)	(1.5%)	(-2.2P)	(3.2%)	(+1.4P)	(4.3%)	(-1.1P)
その他	売上高	4,781	5,124	9,906	4,859	1.6%	5,462	6.6%	10,321	4.2%	9,900	4.3%
	営業利益	179	209	388	262	46.5%	299	42.8%	561	44.5%	430	30.5%
	(売上高比)	(3.7%)	(4.1%)	(3.9%)	(5.4%)	(+1.7P)	(5.5%)	(+1.4P)	(5.4%)	(+1.5P)	(4.3%)	(+1.1P)
連結消去	売上高	-590	-759	-1,350	-751	-	-853	-	-1,605	-	-1,500	-
	営業利益	-57	-84	-141	-48	-	-91	-	-140	-	-60	-
	(売上高比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
連結合計	売上高	73,345	77,766	151,111	80,217	9.4%	83,245	7.0%	163,463	8.2%	162,600	0.5%
	営業利益	2,983	3,750	6,733	3,672	23.1%	3,893	3.8%	7,566	12.4%	7,700	-1.7%
	(売上高比)	(4.1%)	(4.8%)	(4.5%)	(4.6%)	(+0.5P)	(4.7%)	(-0.1P)	(4.6%)	(+0.1P)	(4.7%)	(-0.1P)

2020年3月期 業績/セグメント別 ロジスティクスマネジメント事業



〈主な増減要因〉

- ・ 前年稼働拠点の通期寄与および収益化
- ・ 新規立上げ拠点の初期費用の計上、早期安定稼働
- ・ 既存拠点の物量増
- ・ 料金適正化による収益改善

新規業務獲得・稼働状況

- 販促物・自動車部品・日雑・薬粧品の物流業務稼働（5拠点）
- 日雑カテゴリの複合センター稼働（白岡）（2020年4月本稼働）
- 薬粧品メーカーの専用センター施工（富山）、業務稼働に向け準備（2020年4月稼働）

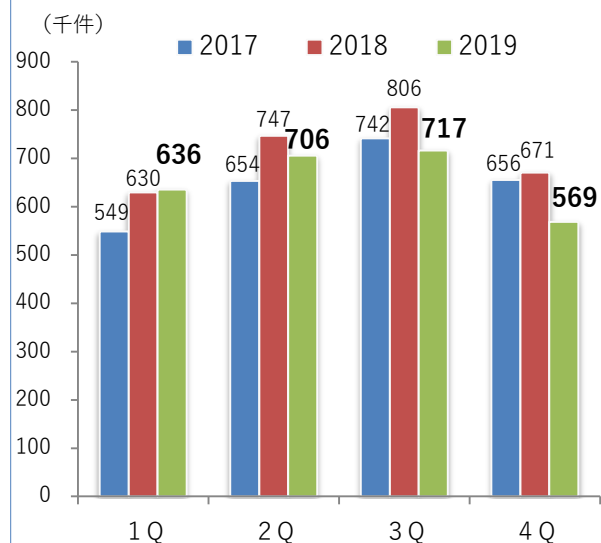
圧倒的な物流センター運営力の実現

- ケースピッキングが主業務の物流センター自動化に向け検討、投資（2020年より順次自動化）
- 東・中・西の3エリアで事業会社化し、安全・安心・品質の徹底した取り組み

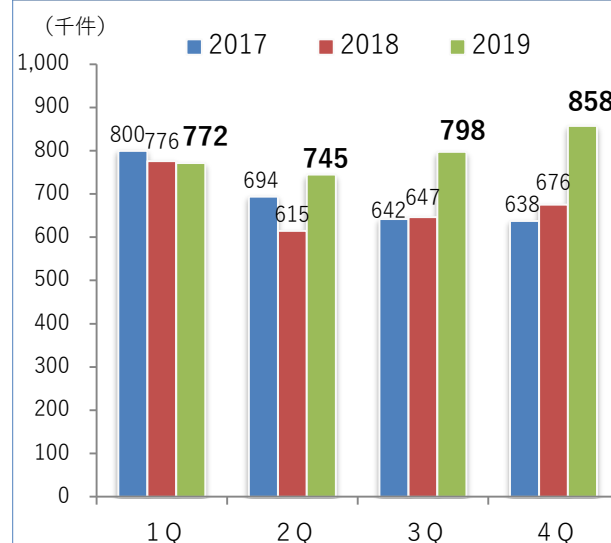
2020年3月期 業績/セグメント別

物流情報サービス事業

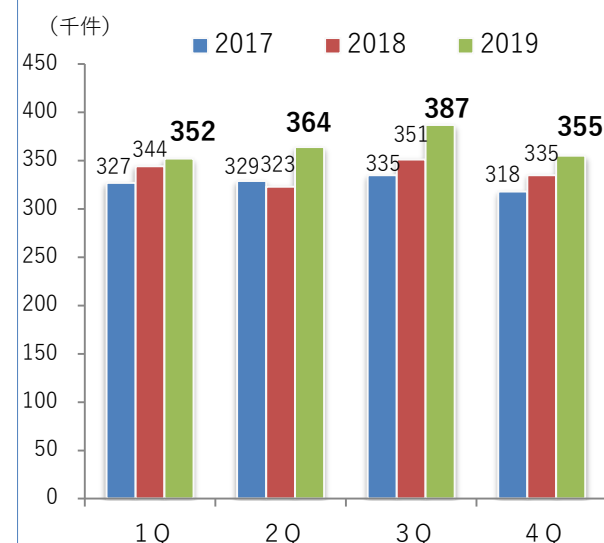
貨物情報



空車情報



成約件数



求貨求車サービスのさらなる強化

■新規出店によるカバーエリア拡充 全国39拠点網へ

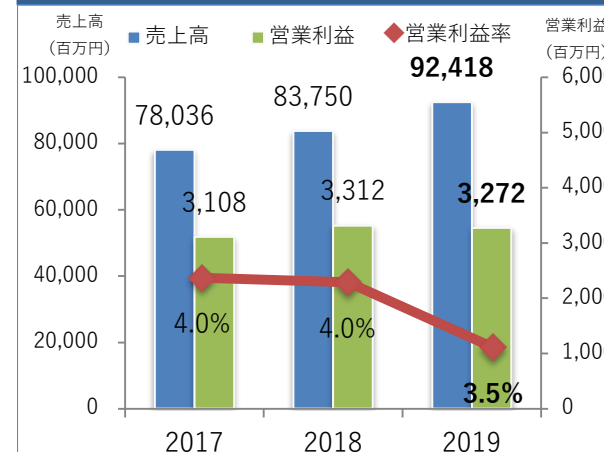
〈新規〉北海道・北大阪（19年3月）名古屋南・北さいたま（19年9月）福岡第2（20年3月）

● 人員数（生産性人員）
2019年3月末 584名 → 2020年3月末 626名 +42名

● 専属車両台数
2019年3月末 1,475台/日 → 2020年3月末 1,716台/日 +241台/日

■メーカーへの新規開拓営業強化による貨物情報獲得

売上高・営業利益・営業利益率



2020年3月期 業績/セグメント別 物流情報サービス事業

輸送の高度化への取り組み

- 中ロット貨物の混載輸送強化
- 川崎港でのドレイジ輸送開始（2020年第1四半期開始予定）
- マッチングオペレーションの効率化を目的としたCTI導入に向け検討を開始
- バックアップセンター構想の検討、長野市に開設予定（2020年下期開設予定）

バックアップセンター機能（検討事項）

データ分析

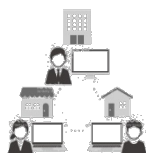
基幹システムに蓄積された
ビックデータの更なる活用



とらなび 問い合わせ対応 とらなび

B C P 対応

災害などの
緊急時対応



アジャスター 教育センター



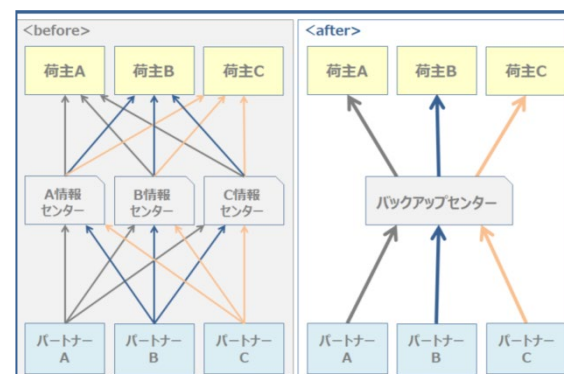
新技術導入などの事業企画機能

地域の大学や他企業との連携

受領書業務集中センター機能

各情報センターで行っている受領書業務の一本化

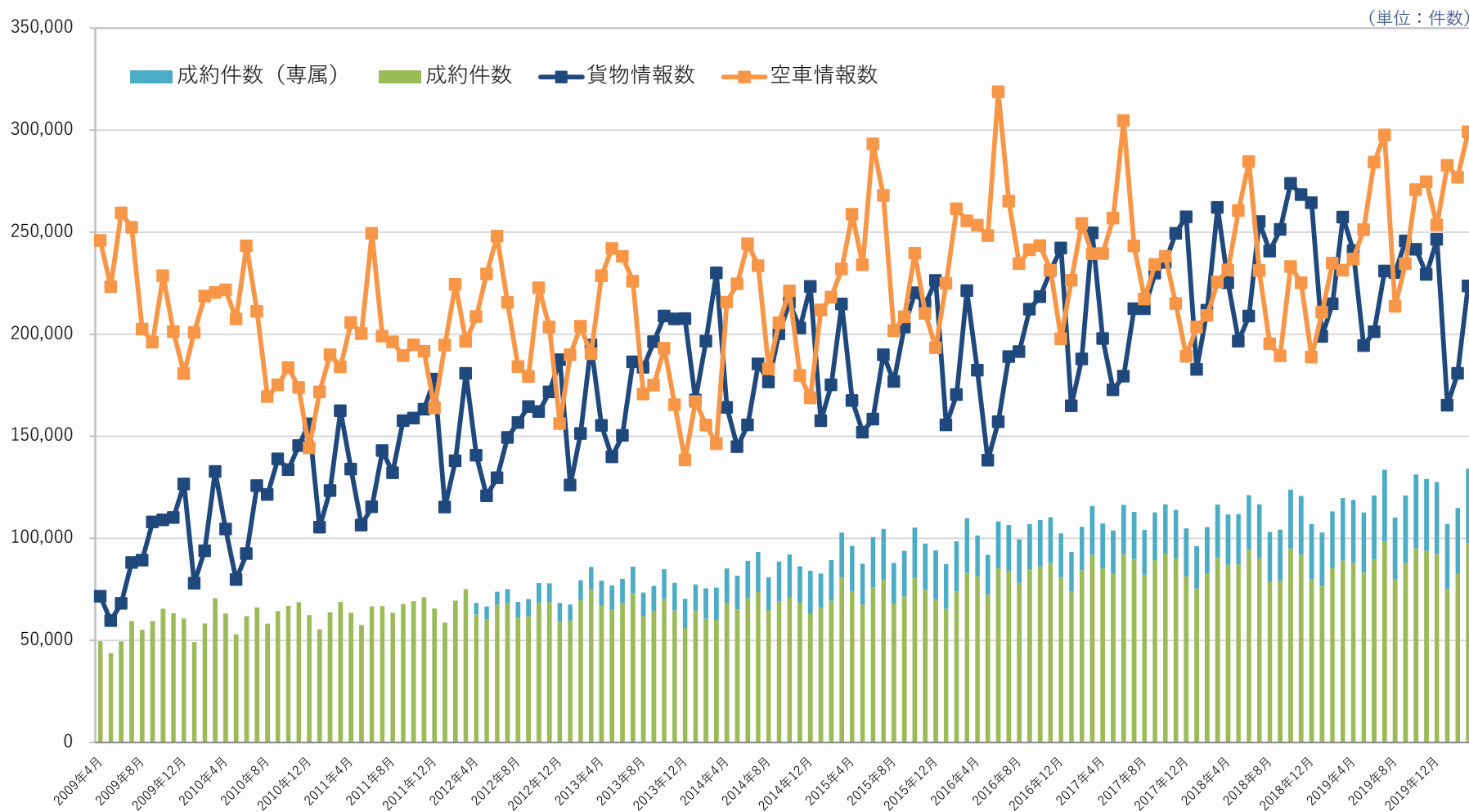
- ◆ パートナーの事務処理軽減
- ◆ 業務一本化、ペーパーレス化によるコスト削減



2020年3月期 業績/セグメント別

物流情報サービス事業 情報数推移

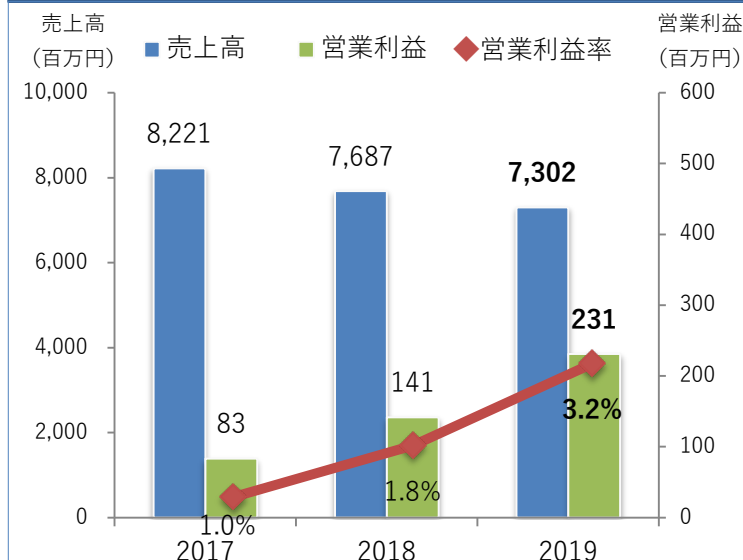
情報数の推移（2009年4月～2020年3月）



2020年3月期 業績/セグメント別

インダストリアルサポート事業・その他

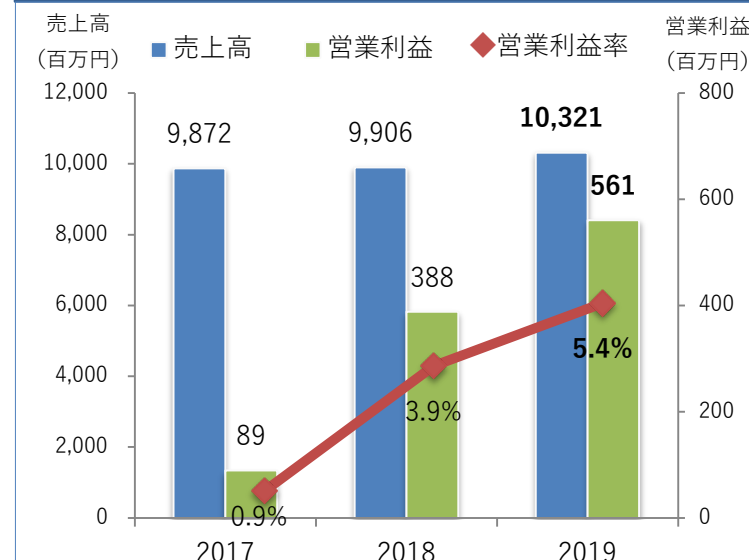
インダストリアルサポート事業 売上高・営業利益・営業利益率



〈主な増減要因〉

- 顧客の生産減
- 粗利率の改善/不採算取引の整理
- 募集費などのコスト管理の徹底

その他 売上高・営業利益・営業利益率



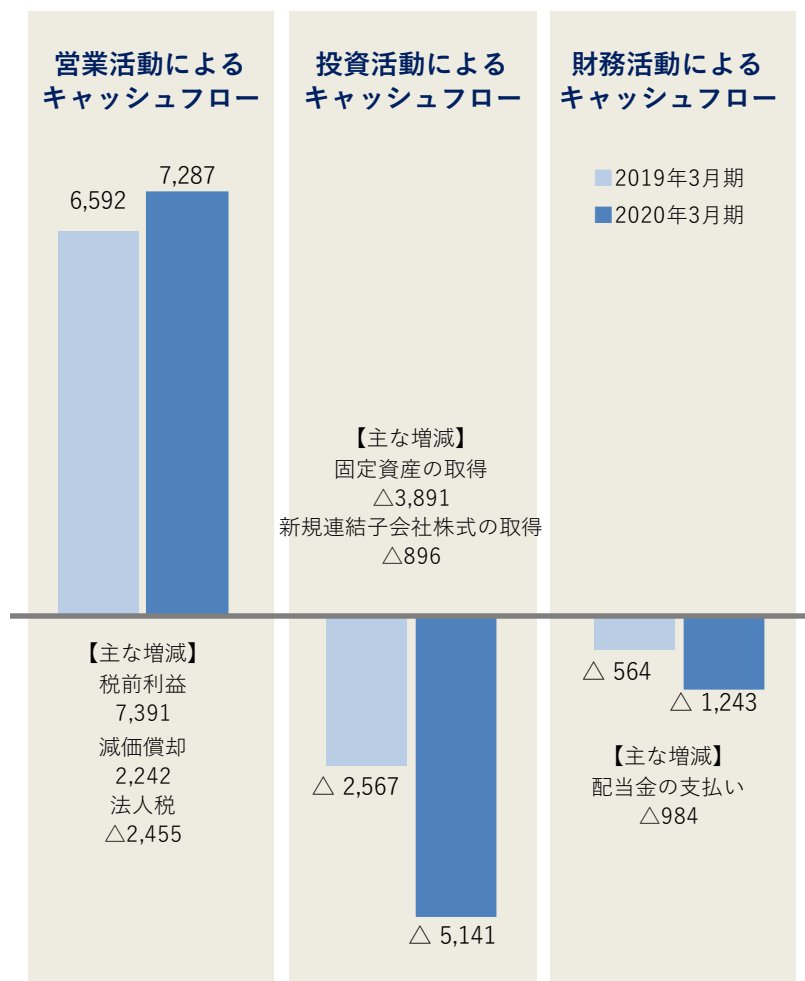
〈主な増減要因〉

- システム部門 コスト改善
- 為替の変動
中国 (16.16円→15.67円/元)
タイ (3.41円→ 3.63円/タイバーツ)

2020年3月期 財政状況及び還元方針

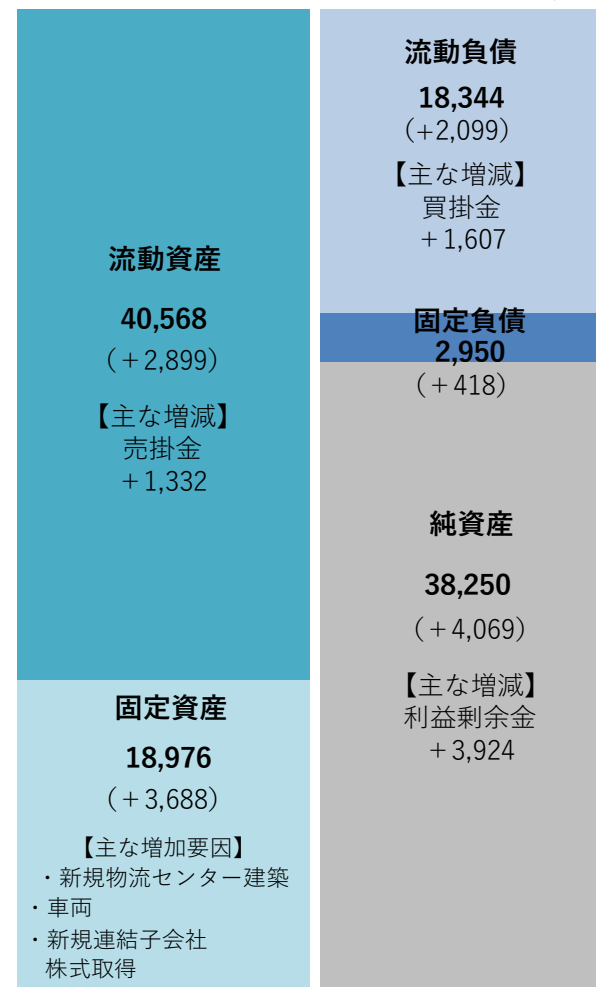
連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)



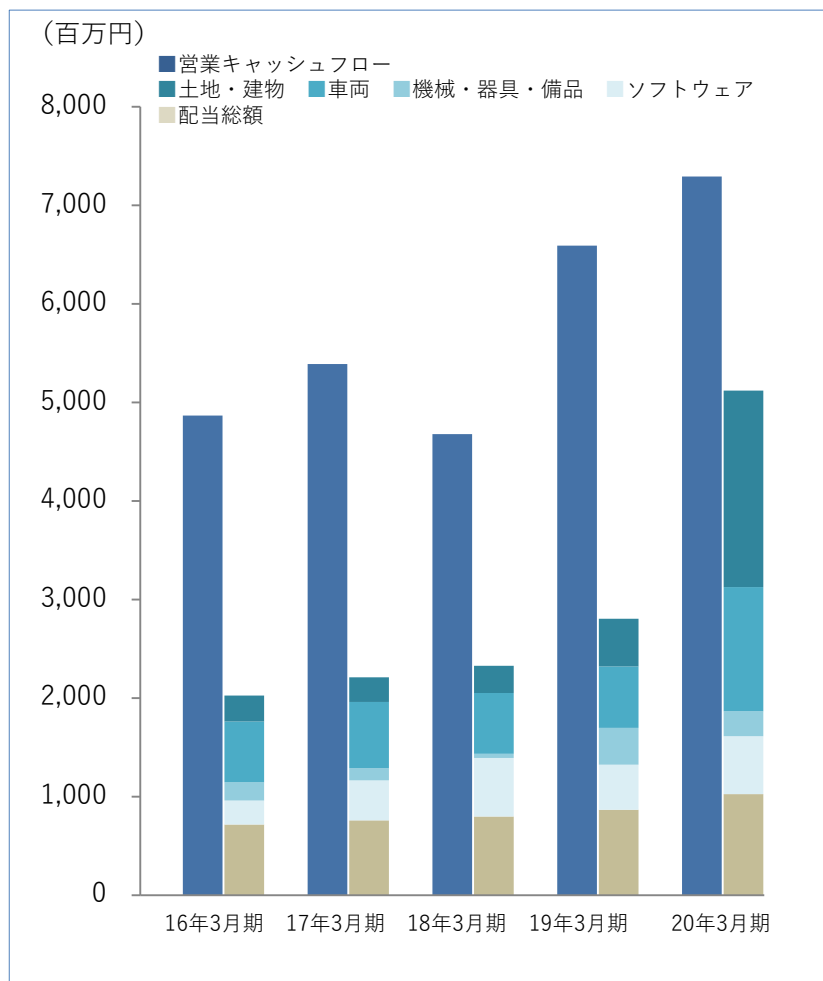
連結貸借対照表

(単位：百万円)

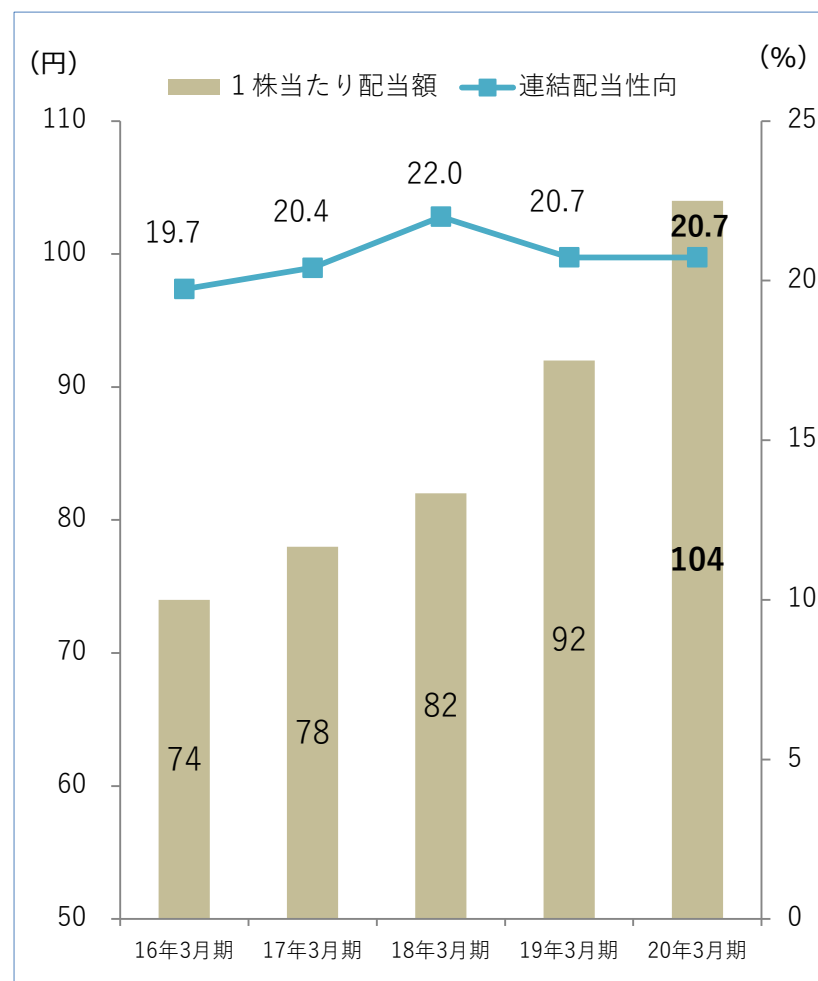


2020年3月期 財政状況及び還元方針

営業キャッシュフロー及び設備投資・配当総額



1株あたり配当金の推移



新型コロナウイルス感染拡大による 事業影響

感染拡大防止に向けた対策

- 感染しない、感染させないための徹底事項
 - ・ 全従業員 手洗い・うがい・アルコールでの手指消毒、マスク着用の徹底
 - ・ グループ内全拠点 施設の出入り口にアルコール消毒設置
 - ・ 出張、会議、訪問、来訪の制限・自粛
 WEB会議システムの活用、不要不急の出張や訪問の自粛
- オフィスの働き方を変える
 - ・ 執務エリアの分離・分散
 - ・ テレワーク推進、時差出勤
 - ・ 年次有給休暇の取得推進

情報センターで感染者が発生した場合の対応策

- テレワークの検討
 - ・ 自宅から基幹システムログイン可能な環境整備（100名分は準備済）
- サテライト出勤
 - ・ 自宅近隣の情報センターへの出勤へ変更

新型コロナウイルス感染拡大による 事業影響

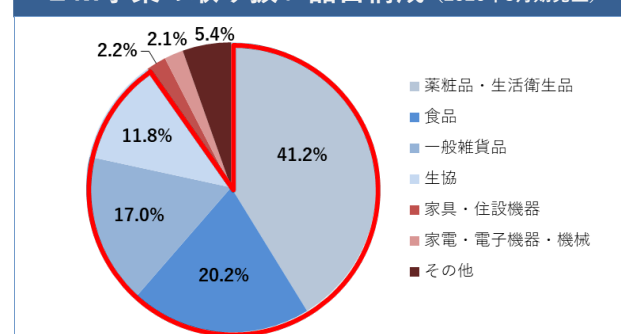
物流情報サービス事業

- 荷動きは更に鈍化し、厳しい事業環境となる想定
- ドライバー不足という構造上の問題は解決しておらず
運賃単価は大幅に下落しないと想定

ロジスティクスマネジメント事業

- 消費財中心であることから、物量は増加する想定
特に生活必需品（生活衛生品・食品）、
生協宅配は大幅に増加
- 顧客の小売店舗休業による物量減が、
業績に与える影響は微減

LM事業の取り扱い品目構成（2020年3月期売上）

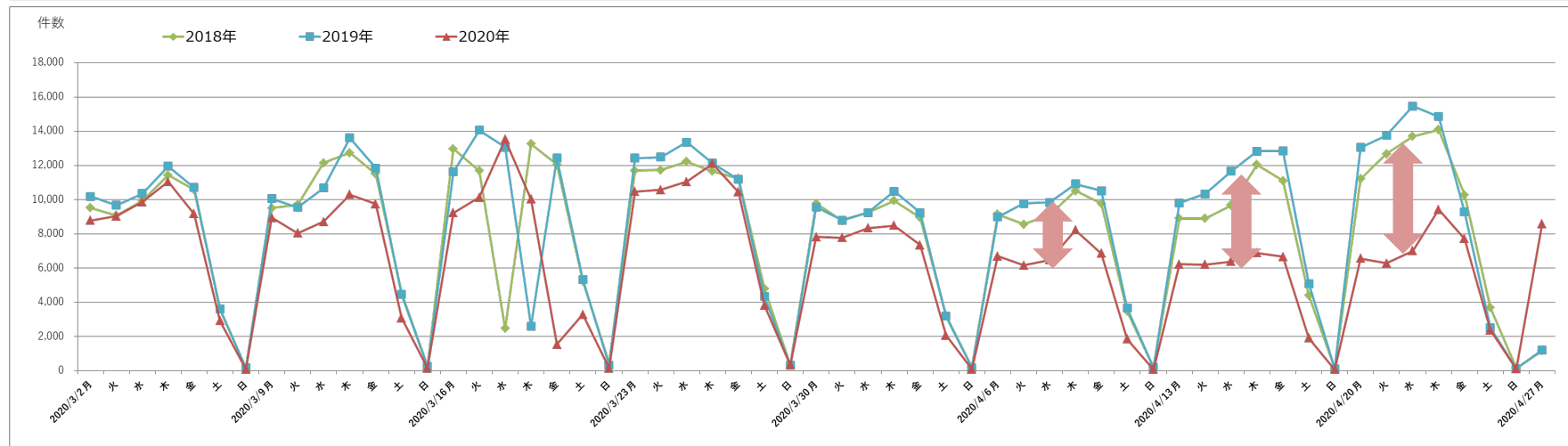
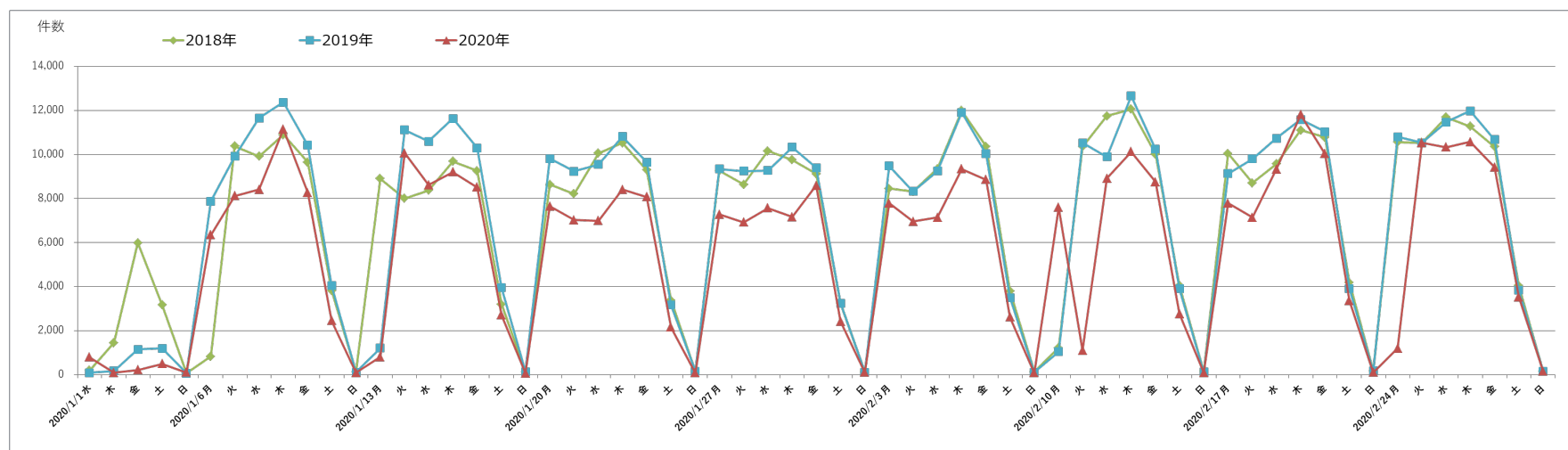


インダストリアルサポート事業

- 自動車関連の工場閉鎖・減産により大幅に減少

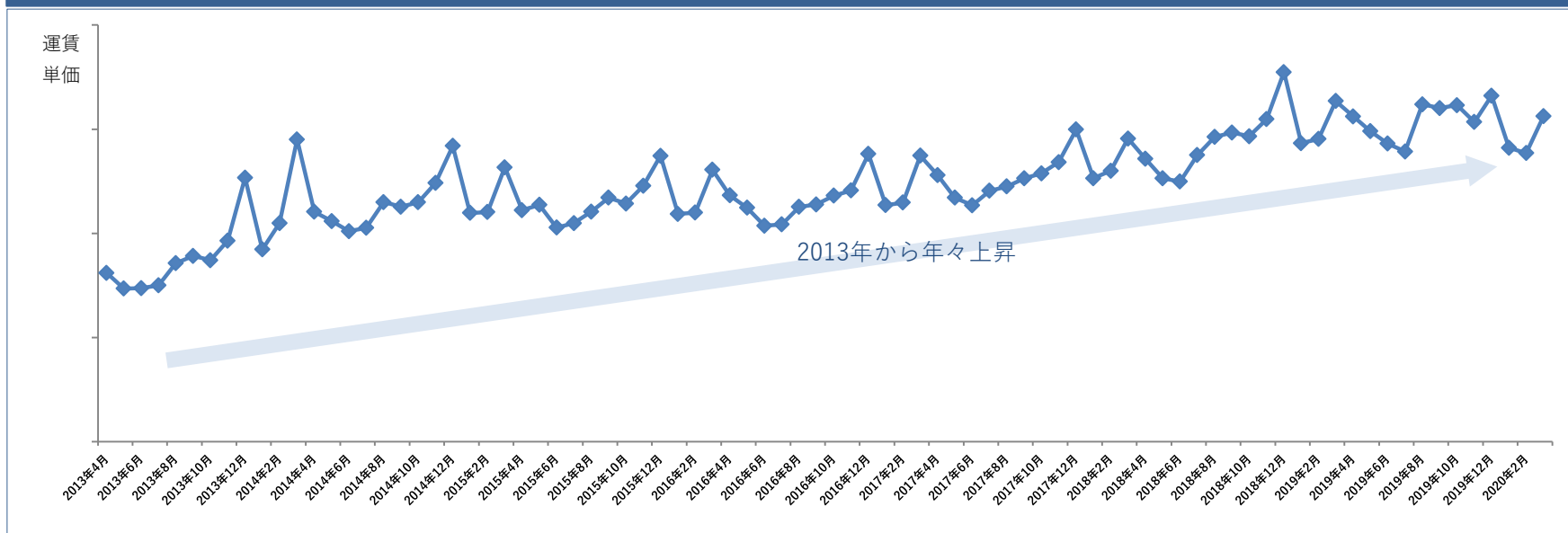
新型コロナウイルス感染拡大による事業影響 参考データ（物流情報サービス事業）

日別貨物情報トレンド（2018・2019・2020）



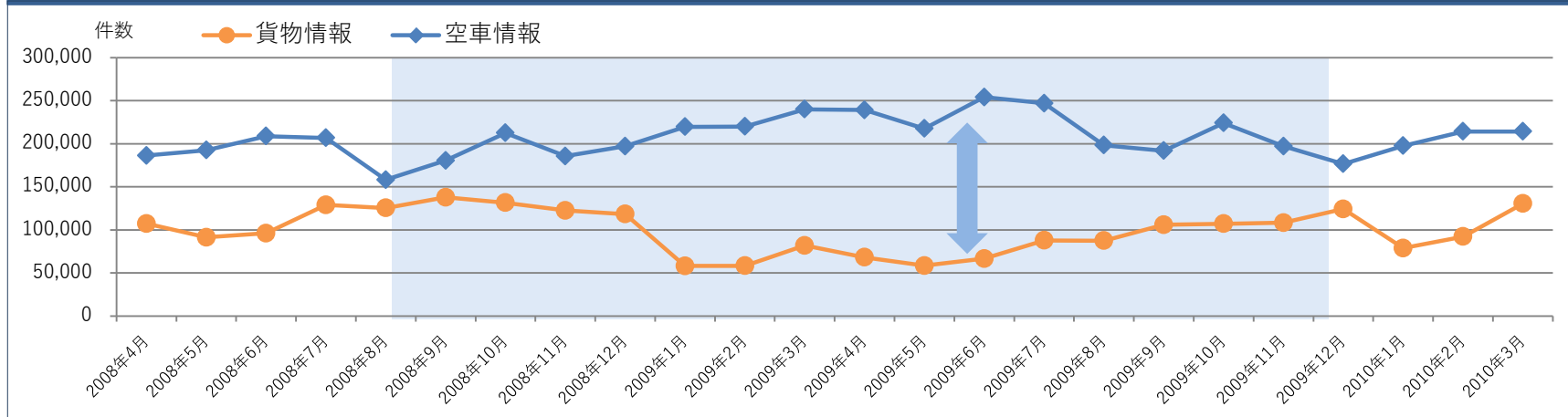
新型コロナウイルス感染拡大による事業影響 参考データ（物流情報サービス事業）

2013年以降の運賃単価トレンド

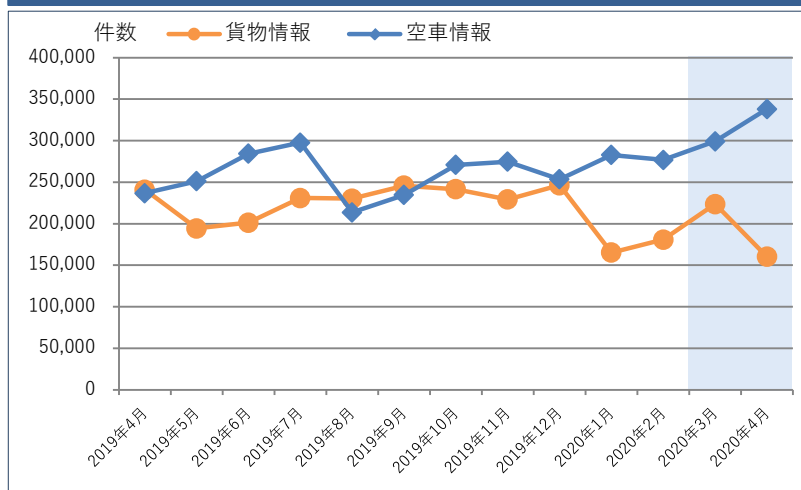


新型コロナウイルス感染拡大による事業影響 参考データ（物流情報サービス事業）

月別貨物情報・空車情報推移（2008年4月～2010年3月）リーマンショック前後

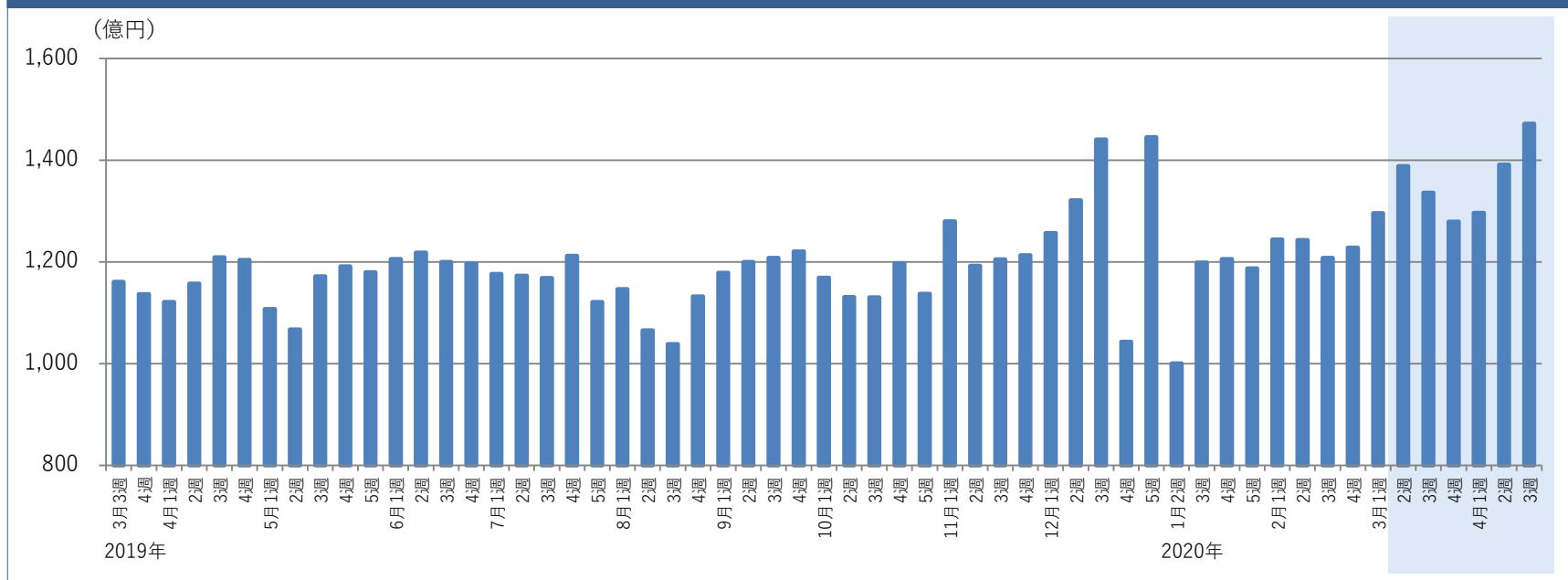


（2019年4月～2020年4月）新型コロナウイルス感染拡大前後



新型コロナウイルス感染拡大による事業影響 参考データ（ロジスティクスマネジメント事業）

宅配トレンド（2019年3月～2020年4月）（トランコムDSの生協事業の供給高）



本資料及び I R 関係のお問い合わせにつきましては、
下記までお願いいたします。

トランコム株式会社
YOUR LOGISTICS COLLABORATOR

M A I L : ir_info@trancom.co.jp
TEL.052-939-2011 FAX.052-939-2015
www.trancom.co.jp



経営企画グループ

T E L : 052-939-2023 F A X : 052-939-2015

※ 本資料には、作成時点における情報を基に予測した事業の将来見通しなどが含まれております。
将来における変動要素やリスク要因などにより、異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。